

「あいち認知症パートナー大学」活動報告

野村千文¹ 佐久間美里¹ 川井伸恵¹

I 「あいち認知症パートナー大学」事業概要

愛知県では、認知症施策として「あいちオレンジタウン構想（平成 29 年策定）」を策定し、認知症に対する理解促進を目指した事業を展開している。

本事業のアクションプランには「新たな社会資源の巻き込み」が掲げられており、愛知県とともに、認知症に理解の深いまちづくりに「じぶんごと」として取り組む企業や大学等を「あいち認知症パートナー企業」及び「あいち認知症パートナー大学」として登録する制度を設けている（資料 1）。

登録要件を満たし認定された企業や大学等は、その取組を宣言し、広く公表することにより、認知症に理解の深いまちづくりの実現に向けた社会的機運の醸成を図る役割を担っている（愛知県高年福祉課，2022）。

「あいち認知症パートナー大学」の認定を受けるためには、所定の要件の中から 2 項目以上満たすことが必要である（資料 2）。

登録件数は、2022 年 8 月時点で「あいち認知症パートナー大学」18 校、「あいち認知症パートナー企業」57 社である（愛知県高年福祉課，2022）。

資料 1 「あいち認知症パートナー大学」広報



あいち認知症パートナー企業・大学 募集



認知症に理解の深いまちづくりに「じぶんごと」として取り組む企業や大学等を登録します。

高齢者の5人に1人が認知症になる時代。家族、友人、同僚、そして私たち自身が認知症になった時、どのような社会があれば安心して暮らすことができるでしょうか。認知症を「じぶんごと」として考えていただき、認知症に理解の深いまちづくりに向けて、できることから「ONEアクション」をしてみませんか。愛知県では、こうした取組を行う企業・大学等を「あいち認知症パートナー」として登録しています。企業・大学等の皆様におかれましては、趣旨をご理解の上、ぜひ登録をお願いいたします。



¹ 一宮研伸大学看護学部 高齢者看護学領域

資料2「あいち認知症パートナー大学」登録要件

項目	取組内容
従業員向けの取組	認知症サポーター
	宣言する事業所(県内)に認知症サポーターがいる
	毎年認知症サポーター養成講座を受講している職員がいる
	社内で定期的に認知症サポーター養成講座を実施している(認知症キャラバン・メイトを配置している)
	認知症の人にやさしい企業サポーター
	宣言する事業所(県内)にONEアクション研修を受講した職員がいる
	社内で毎年ONEアクション研修を実施している
	ボランティア活動の推進
	ボランティア休暇制度を整備している
	従業員に認知症高齢者に対するボランティアを紹介している
顧客等向けの取組	家族への支援
	地域包括支援センターの紹介をしている
	社内に認知症相談窓口を設置している(健康相談・介護相談の枠に「認知症」の記載がされている)
	若年性認知症への対応
	若年性認知症総合支援センターの周知を行っている
	若年性認知症に関する啓発活動をしている
	若年性認知症の方の雇用をしている(継続雇用する仕組みがある)
	行政との連携
	従業員に認知症高齢者等の見守りネットワークへの登録をすすめている
	認知症高齢者等の見守りネットワークに関係機関として参画している
その他	地域包括支援センターと連携している
	認知症の方への支援
	認知症高齢者にやさしい商品サービスの開発に取り組んでいる
	認知症高齢者が利用しやすい環境づくりへの取組をしている(対応マニュアルの作成、従業員への研修等)
その他	県の作成する啓発資材の提示、従業員・顧客への配布を行っている
	その他、認知症施策に資する取組を行っている

II 「あいち認知症パートナー大学」事業への参画

一宮研伸大学(以下、本学とする)は、2017年の開学時から、高齢者看護学領域の教員が、本学近隣地区に暮らす認知症高齢者やその家族へのボランティア活動を企画し、学生が認知症に対する理解を深める活動を実施してきた。「あいち認知症パートナー大学」の事業に参画することは、認知症に対する理解を深める活動を、本学が主催となり推進する契機となり、認知症に関する情報発信や、当事者と地域住民との交流の場の創出により、地域貢献に繋がると考える。また、本学学生が活動に参加することにより、本学の学位授与方針「5. 地域の特性を理解した上で、地域に貢献する活動を志向することができる」力の育成にも寄与すると考える。そこで、高齢者看護学領域の教員より、本学に本事業への参画を提案し承認を得た後、申請手続きを行い、2021年4月に「あいち認知症パートナー大学」の認定を受けた。

申請に際して該当した登録要件は4項目あり、本学が開設した2017年度から2020年度までの授業内容や地域貢献活動の実績を活かすことができた。

＜本学の該当項目＞

1. 認知症サポーター養成講座の開催
2. 認知症への理解を深めるための講座の開催
3. ボランティア活動の推進
4. 県の作成する啓発資材の提示、学生への配布

III 「あいち認知症パートナー宣言」

本学における「あいち認知症パートナー宣言」文を記載する(資料3)。

資料3 あいち認知症パートナー宣言

あいち認知症パートナー宣言

名称 一宮研伸大学

私たちの企業・大学は、「認知症に理解の深いまちづくり」に「じぶんごと」として取り組みます。

一宮研伸大学は、地域との関係性を大切に教育と幅広い教養豊かな人間性を有する実践力のある看護者を育成することを建学の精神としています。

2017年の開学時から、ボランティア活動を通して、地域に暮らす認知症の方々やご家族との交流の場に参画し、学生が認知症への理解を深める機会を設けてきました。また、本学にて「認知症サポーター養成講座」を開催し、学生は一人ひとりが認知症の方々の支援する役割を担う一員であることを表明する機会といたしました。今後も、本学の教職員、学生は、地域に暮らす市民の皆様とともに、認知症に対する理解を深める活動を創出していきます。

1. 本学にて「認知症サポーター養成講座」を開催します。
2. 認知症の方々の暮らしを支えるボランティア活動を紹介し学生の参加を推進します。
3. 学生参画による認知症に関する講座を実施し、看護学の学修成果を地域社会に還元できることを目指します。

IV 登録認定後の取り組みについて

「あいち認知症パートナー大学」認定後の2021年度ならびに2022年度9月までの取り組みについて報告する。

1. 認知症サポーター養成講座の開催

認知症サポーター養成講座は、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを進めるために、市民が認知症を正しく理解し、地域で認知症の人や家族を応援できる人材を養成する目的で開催されている。認知症サポーターは、2022年9月30日時点で1405万人に達している（特定非営利活動法人 地域共生政策自治体連携機構、2022）。

認知症サポーター養成講座は、基本カリキュラムが所要時間90分で設定されており、これに基づき自治体が講師を派遣する形式で開催される。

一宮市では、生涯学習課出前講座「いちのみや出前一聴」の中に、認知症サポーター養成講座（講座名「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」）がある。本学では、毎回一宮市に受講申し込みを行い、2021年度、2022年度ともに年1回開催をした（表1）。

表1 認知症サポーター養成講座開催状況

年度	2021	2022
授業科目	4年次 総合看護実習（高齢者看護学領域）	
開催日	2021年 9月17日（金）	2022年 9月14日（水）
形式	オンライン	対面
講師	一宮市高年福祉課地域支援グループ 保健師3名 地域包括支援センターまちなか 職員2名	一宮市高年福祉課地域支援グループ 保健師3名 地域包括支援センターまちなか 職員2名
参加人数	4年次学生13名 教員3名	4年次学生10名 教員3名
講座内容	テキスト：認知症サポーター養成講座・標準教材「認知症を学び地域で支えよう」 ＜基本項目＞ 1. 認知症の病態、症状、診断、治療 2. 認知症の予防 3. 認知症の人と接するときの心がまえ 4. 認知症の人への支援 5. 家族介護者への支援 6. 認知症サポーターの役割 ＜本学学生向け・追加項目＞ 1. 一宮市における認知症施策 2. 認知症ケアにおける多職種連携 ＜本学学生の学習方法＞ 1. 講師による講義 2. 課題に対するグループワーク 3. 講師と学生による意見交換	
本学学生受講後学修課題	講座受講後、下記の課題に取り組む。学修成果は講座講師とも共有する。 課題1：認知症サポーターとしての「明日からの心得」認知症サポーターとして、明日からあなたはどういうような心得や取り組みを行いますか？ 「明日からの心得〇条」を3つ以上挙げ、これからの取り組み意識を高める契機としよう。 課題2：認知症の人が住み慣れた地域で暮らすために、何ができるでしょうか？ 家族支援、多職種連携の視点も交えて、講座での学びから、看護職が担う役割について考察しよう。	

なお、認知症サポーター養成講座の受講者は、4年次「総合看護実習（高齢者看護学領域）」履修学生とした。学生は、すでに授業にて認知症に関する基本知識は既習しているため、学修目標には、自らも市民として認知症サポーターの役割を担う

こと、ならびに看護学生として認知症に関する市民向け講座の構成や工夫点などについて学修することも追加している。

2. 認知症の理解を深めるための講座

本学における認知症の理解を深めるための講座は、4年次「総合ゼミナール（高齢者看護学領域）」履修学生による学生企画講座が該当する。高齢者看護学領域では、プロジェクト学習形式を導入し、プロジェクトテーマに関する自身の学修成果について伝えたい対象に発表するための準備をし、1期生の履修者から、学生企画講座として実施している。

「あいち認知症パートナー大学」の取り組みとしては、プロジェクトテーマが「認知症」に関するものが該当すると考える。

学生企画講座の開催状況は、2021年度は、12月に1件を実施した。2022年度は、12月に講座2件を開催する予定である（表2）。

表2 学生企画講座の開催状況

年度	2021	2022
授業科目	4年次「総合ゼミナール（高齢者看護学領域）」	
開催日	2021年12月2日（木）	2022年12月（開催予定）
講座内容	「学生企画講座」 テーマ 認知症の予防と支援体制	「学生企画講座」 テーマ1 認知症高齢者とのコミュニケーション テーマ2 認知症高齢者の家族介護者への支援
形式	対面	対面
参加人数	受講者4名 学生4名	受講者各4名（予定） 学生6名

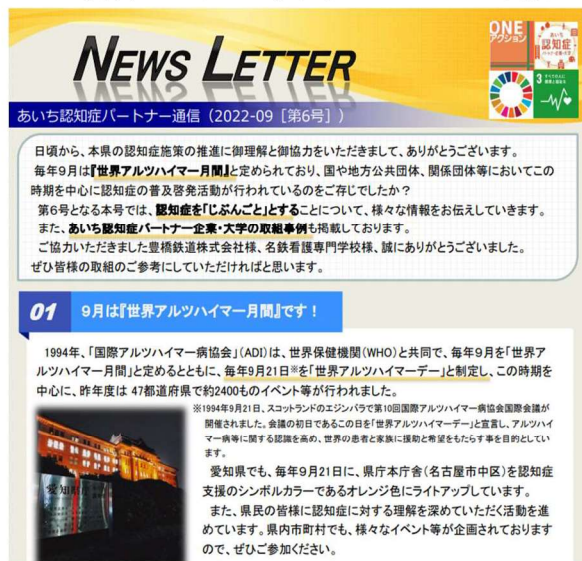
3. 県の作成する啓発資料の提示、学生への配布

「あいち認知症パートナー大学」登録校には、愛知県福祉局高齢福祉課地域包括ケア・認知症施策推進室より、ニュースレターとして「あいち認知症パートナー通信」が配信される。2022年9月時点で第6号に至っている（資料3）。毎号、高齢者看護学領域より本学教職員にメールで案内している。

また、学生には、高齢者看護学関連の授業科目における「認知症」に関する講義、実習、ゼミナールにおいて、「あいち認知症パートナー通信」をはじめ、「認知症の人と家族の会」公式ホームページ

より愛知県支部の活動の紹介、一宮市高年福祉課の事業の紹介を実施している。

資料3 あいち認知症パートナー通信



愛知県高齢福祉課地域包括ケア・認知症施策推進室(2022/8/18)．あいち認知症パートナー企業・大学 登録者一覧

https://www.pref.aichi.jp/uploaded/life/415835_1851825_misc.pdf[2022/10/14 閲覧]

愛知県高齢福祉課地域包括ケア・認知症施策推進室(2022/8/19)．あいち認知症パートナー宣言について、

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiikihoukatu/partner-sengen.html>[2022/10/14 閲覧]

特定非営利活動法人 地域共生政策自治体連携機構(2022/9/30)．認知症サポーター要請状況、

<https://www.caravanmate.com/result/>[2022/10/14 閲覧]．

V 今後の取り組みについて

本学における「あいち認知症パートナー大学」2年間の取り組みは、「認知症サポーター養成講座」や「学生企画講座」の開催など、授業科目を活用し、学生参画による形式で実施することができた。

今後は、これら学内向けの取り組みを継続するとともに、地域住民など学外者向けに、認知症を「じぶんごと」として考える機会となる企画を立案していくことが重要と考える。

次年度は、本学の新型コロナウイルス感染症対策の方針も鑑み、「認知症サポーター養成講座」については参加者を地域住民に拡大すること、認知症の方に対する「ボランティア活動」については、自治体や高齢者ケア施設とも連携し、本学学生の活動の機会を創出するなど検討していく所存である。

文献

愛知県高齢福祉課地域包括ケア・認知症施策推進室(2022/4/1)．あいち認知症パートナー企業・大学の募集、

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiikihoukatu/ninchisho-partner.html>[2022/10/14 閲覧]．